

# June 2019

時を見分け、約束の成就を見る  
—終末リバイバルの働きの使命の成就に向けて—

そのように、わたしの口から出るわたしのことばも、むなしく、わたしのところに帰っては来ない。必ず、わたしの望む事を成し遂げ、わたしの言い送った事を成功させる。（イザヤ書 55章11節）



聖所から流れ出る水ミッション

代表 エルサレム杉澤

皆様の尊いお祈りとご献金を有難うございます。当ミッションの宣教師である東京アンテオケ教会のパウロ秋元牧師の米国宣教師ビザが5月20日に更新・発給されましたことをご報告させていただきます。4年前の5月20日、米国のセントルイスで「リバイバルが始まりました。」と神さまに語られた日と同じ日に奇しくも発給されたことは、米国100の教会設立と語られている約束の成就に向けた次の段階の宣教の働きと大きく関わっていると思われます。

米国では米中貿易摩擦が再び激化し、貿易摩擦から貿易戦争の様相を呈しています。世界経済への影響も懸念されるなか、核問題をめぐって米国とイランの関係も急速に緊迫度を増してきています。確かに米国は黙示録には出てきませんが、世界の中心であるとともに、霊的な面でもセンター的位置を占めています。欧州や南米などへの宣教のポイントであり、終末の働きと世界宣教の働きのためのポイントとなる国です。特にデンバーとニューヨークの2つの都市は印象深い都市です。最初の第1アメリカチームは世界宣教と終末リバイバルの約束のみことばが示された印象的なチームでした。神の祝福のしるしとして虹を現すとの神の約束の示しとともに、チームが帰る時、最初の祝福のしるしである二重の虹を見たのがデンバーの空港です。また、終末リバイバルの世界宣教の働きで示されている世界の7つの都市のひとつがニューヨークです。更に米国で約束の100の教会設立が進み、約束の終末リバイバルの働きの使命を全うできるようお祈りくだされば幸いです。

何が起こってもおかしくない時代、黙示録時代に至る足音は着実に近づいています。色々な困難や迫害が許され、多くの殉教者が許される時代に入って行きます。聖書と照らし合わせ、世界情勢の動向を注意深く見ていく必要があります。更に徹底して主に祈り聞き従うなかで、約束の成就を主がなされ、主の勝利と栄光を見ていきましょう。



写真：東京カリスマ聖会  
パウロ秋元牧師